

里山倶楽部自然農場日記1月号 NO84

あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

最近よく「TPPが大筋合意されたので、鈴木さんのところは商売繁盛になるのでしょうね」ということを聞かれます。最初は何のことかな〜？と分かりませんでした。多分次の事が理由なんでしょうね。TPPに加盟すると、関税が撤廃されるので国内の農業は壊滅。そのため消費者はどのように作られたかわけの分からない外国の農産物を食べざるを得なくなる。もちろんその中には遺伝子組み換えの作物も堂々と入ってくるし残留農薬、食品添加物、ポストハーベスト等あらゆる規制基準が撤廃されてしまうのです。というわけで安全な自然農場の野菜に注文が殺到する？ということらしいです。

またマスコミは「TPPこそビジネスチャンスだ」という報道をしきりに流しています。日本の品質の良い作物を輸出して生き延びれば良い（銭儲けのためなら国内の消費者に食べてもらわなくてもいいのですか）。小さな田畑を集約して大規模農業を目指し効率をアップする（この狭い日本。なんぼ集約してもアメリカ、ブラジル、オーストラリアに勝てるはずがないですよ）。企業に農業に参入してもらおう（簡単に言いますが、企業に農業のスキルがあるのですか？ベテラン農家はどんどん減っているのですよ）。等々。

前段の自然農場のもうけ話も、後段のマスコミの報道もTPPの本質から目をそらせるプロパガンダとしか思えません。

結論を一言で言えば「TPPに加盟するという事は日本に農業はいらない」ということなのです。何が自給率向上ですか？何が農業を保護するのですか？何が国民の命を守るのですか？

去年は特定秘密保護法案、安保法案（戦争法案）、アベノミクス、マイナンバー制度、TPP等々悪法が次々と成立しました。国民の足元までひたひたと波が打ち寄せられています。このまま行けばある日突然大波にさらわれ、気づいた時には身動き取れない状況に追い込まれていることでしょう。

今年は何とか昨年までの流れを変えたいものです。

ささやかな抵抗として今年も「スモールファーム自給塾」を開校することに決めました。こんな時代だからこそ生きるために必要な「食」を他人に頼らず自ら作るスキルを身につけましょう。

お客様の声

無農薬野菜に火を通すのがもったいないので、最近はスムージーにして飲んでます。とてもおいしいです。

(Hさま)

いつもありがとうございます。レンコンをきんぴら、おいしかったです。

(Kさま)

たまちゃんのつぶやき

今日は久しぶりに冬らしく気温も下がり「12月だなー」と思いながらの収穫です。今年は年内に巻いた白菜をお届けできて一安心……。今回は年末であれもこれも入れていたら、たくさんになってしまいました。今年も一年間畑や天候の都合などに左右されるセット野菜を食べて下さりありがとうございました。来年もどうぞよろしく願いいたします。

(12月17日)